



懸垂幕

年	祝出場	祝出場	祝出場	祝出場	祝出場	祝出場	祝出場	祝出場	祝出場	祝出場	祝出場	祝出場	祝出場	祝出場	祝出場	祝出場	祝出場
2015	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校
2016	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校
2017	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校
2018	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校
2019	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校	岩手県立花巻北高等学校



桜雲堂

第60号

発行
岩手県立花巻北高等学校
桜雲同窓会事務局

TEL 0198-23-4135 FAX 23-1354

http://www2.iwate-ed.jp/hkn-h/

印刷 (株)菊忠印刷



イーハトーブ花巻から世界へ

桜雲同窓会長
佐藤 良介

本校は、地元の熱意が実り、昭和六年四月一日花巻町外十七町村学校組合立花巻中学校として開校致しました。以来今日まで八十七年の歴史を有し、卒業生は二万余名を数えるに至りました。

同窓生は、桜雲同窓生としての誇りを胸に、岩手県はもとより、国内外において、産業、政治、教育等の多くの分野で活躍しています。

近年グローバル化の著しい進展に伴い、本校においても、教育方針の一つに「国際社会に貢献する人材の育成」を掲げております。

一昨年九月には、花巻市の国際姉妹都市である米国アーカンソー州ホットスプリングス市のアーカンソー数理芸術高校(ASSMA)と姉妹校提携の調印式を行いました。

昨年十一月には、第一回短期留学生派遣事業として、下町壽男校長を団長に生徒四名をASSMAに派遣しました。現地では、ホームステイをしながら交流を深めて参りました。

この留学生派遣事業に当りましては、桜雲同窓会国際交流事業積立金に、東京桜雲会の皆様から多くの募金が寄せられました。改めて深



在校生 諸君の大きな飛躍を期待し、同窓生の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

本校の建学の精神は、地域社会に貢献する人材にあります。このような国際経験を積んで、地域社会はもとより国際社会に貢献する人材が輩出されることを願うものであります。

高校生が、現地で異文化に触れ多くの発見をし、またふるさと花巻の良さを紹介することにより、新たな友情が芽生える貴重な経験をし、それが今後の人生の大きな糧となることと思っております。

私は、国際交流の基本は、お互いの国の文化、歴史、風土等を良く理解し合うこと、相互理解にあると思

います。強く感謝申し上げます。同窓生の絆の強さ、母校愛をつくづく感じた次第であります。

協議事項

定期総会報告

平成二十九年度の桜雲同窓会定期総会は、平成二十九年八月五日(土)十四時から、ホテルグランシェール花巻において開催されました。来賓に校長、副校長、事務長、花巻南高校同窓会長、花巻北高校PTA会長、副会長をお迎えし、同窓生約二〇〇名の参加を得て行われました。

平成二十九年度の桜雲同窓会定期総会(案)について
⑤平成二十九年年度一般会計収支予算(案)について
⑥平成二十九年年度周年事業積立金収支予算(案)について
⑦平成二十九年年度桜雲同窓会国際交流事業積立金収支予算(案)について

- ①平成二十八年度事業報告について
- ②平成二十八年度一般会計収支決算について
- ③平成二十八年度周年事業積立金収支決算について
- ④平成二十九年度事業計画(案)について

- 協議事項は、すべて議案書どおり承認されました。その後、同窓会に寄付をいただいた佐々木幸三氏(15期)、小原之夫氏(29期)に感謝状が贈呈されました。
- 三氏(元東京桜雲会会長・株式会社ア
- 関西支部 六月十七日
- 花巻北西支部 七月十四日
- 石鳥谷支部 七月十八日
- 盛岡支部 七月二十日
- 東京桜雲会 十月十四日
- 東和支部 十一月十一日
- 花巻北支部 二月十二日

平成28年度桜雲同窓会一般会計収支決算書

平成28年6月1日～平成29年5月31日 単位:円

項目	予算額A	決算額B	増減B-A	備考
繰越金	442,798	442,798	0	
入会金	3,570,000	3,434,000	△136,000	6,868件×500円
会費	300,000	890,000	590,000	34期、35期、44期、47期、56期
寄付金	0	1,350,000	1,350,000	佐々木幸三様、小原之夫様、山折哲雄様
雑収入	7,202	6,035	△1,167	名簿、利息等
合計	4,320,000	6,122,833	1,802,833	

項目	予算額A	決算額B	増減A-B	備考
事務費	100,000	46,934	53,066	FAXフィルムインク、事務局手当
総会費	250,000	222,970	27,030	広告掲載料、講師謝礼、懇親会補助等
事業費	1,250,000	1,238,064	11,936	卒業証書ホルダー、支部活動補助、会報印刷、会報発送用封筒等
慶弔費	250,000	136,512	113,488	支部総会御祝、弔電
会議費	150,000	112,400	37,600	役員会・支部総会会議費
通信費	1,050,000	1,003,583	46,417	電話代、役員会・定期総会案内、会報送料
旅費	300,000	367,318	△67,318	支部総会出席旅費
周年事業積立金	714,000	686,800	27,200	6,868件×100円
国際交流事業積立金	0	1,300,000	△1,300,000	国際交流事業積立金へ繰出
雑費	150,000	81,068	68,932	各種広告代
予備費	106,000	0	106,000	
合計	4,320,000	5,195,649	△875,649	

収入 支出 残高
¥6,122,833 - ¥5,195,649 = ¥927,184 残額は、次年度へ繰り越す。

平成29年度桜雲同窓会一般会計収支予算書

平成29年6月1日～平成30年5月31日 単位:円

項目	前年度予算額B	本年度予算額A	比較A-B	備考
繰越金	442,798	927,184	484,386	
入会金	3,570,000	3,585,000	15,000	717名×10回×¥500
会費	300,000	300,000	0	未納の期を中心に会費納入をお願いする
寄付金	0	0	0	
雑収入	7,202	7,816	614	決算利息等
合計	4,320,000	4,820,000	500,000	

項目	前年度予算額B	本年度予算額A	比較A-B	備考
事務費	100,000	80,000	△20,000	事務局手当
総会費	250,000	250,000	0	講師謝礼・総会広告料
事業費	1,250,000	1,300,000	50,000	会報印刷・支部活動補助、卒業証書ホルダー
慶弔費	250,000	250,000	0	支部総会御祝 弔電
会議費	150,000	150,000	0	役員会等会議費
通信費	1,050,000	1,050,000	0	会報送料・電話代
旅費	300,000	400,000	100,000	支部総会出席旅費
周年事業積立金	714,000	1,075,500	361,500	周年事業積立金会計へ 717名×10回×¥150
国際交流事業積立金	0	0	0	国際交流事業に向けての積立
雑費	150,000	150,000	0	各種広告料
予備費	106,000	114,500	8,500	
合計	4,320,000	4,820,000	500,000	

ドブレン会長(15期)をお迎えし、「私の仕事を題してご講演を頂きました。懇親会は、新同窓生の音頭による応援歌唱和などで盛り上がりました。和気藹々の穏やかな雰囲気にて、最後は校歌を斉唱し、盛会のうちに会を終えました。

平成28・29年度 桜雲同窓会役員

役職名	氏 名(期)
会 長	佐 藤 良 介(33)
副会長	高 橋 豊(30)
副会長	酒 井 孝 子(33)
副会長	後 藤 勝 也(26)
副会長	赤 沼 豊 明(28)
副会長	高 橋 光 彦(34)
副会長	上 田 穰(36)
副会長	斎 藤 雅 博(36)
副会長	古 川 勉(38)
副会長	伊 藤 純 子(41)
副会長	北 山 公 路(43)
副会長	菊 池 忠 彦(44)
顧 問	佐 藤 日出見(12)
顧 問	宮 澤 啓 祐(26)
顧 問	上 田 東 一(37)
顧 問	下 町 壽 男(校長)
監 事	畠 山 忠 弘(25)
監 事	高 橋 勝 芳(28)
監 事	宮 澤 一 郎(30)

桜雲同窓会支部長

支 部	氏 名(期)
宮野目	調 整 中
東 和	西 川 隆 道(29)
石鳥谷	高 橋 康 郎(29)
盛 岡	斎 藤 雅 博(36)
東 京	小 原 之 夫(29)
宮 守	似 内 宏 和(37)
紫 波	上 田 潤 司(33)
久 慈	八 重 樫 護(18)
仙 台	傳 野 貞 雄(24)
花巻市役所	八 重 樫 和 彦(51)
花巻北	林 正 文(19)
水 沢	箱 崎 清 高(16)
花巻北西	佐 々 木 恭 一(10)
遠野地方	大 里 政 純(41)
一 関	小 野 寺 峯(15)
関 西	山 折 哲 雄(14)

平成28年度桜雲同窓会国際交流事業積立金収支決算書

平成28年6月1日～平成29年5月31日

単位:円

<収入の部>

項 目	予算額A	決算額B	増減B-A	備 考
繰 越 金	1,000,000	1,000,000	0	
繰 入 金	0	1,300,000	1,300,000	一般会計より繰入
雑 収 入	0	200	200	
合 計	1,000,000	2,300,200	1,300,200	

<支出の部>

項 目	予算額A	決算額B	増減A-B	備 考
国際交流事業	0	0	0	
合 計	0	0	0	

収 入 支 出 残 高
¥2,300,200- ¥ 0 = ¥2,300,200 残額は、次年度へ繰り越す。

平成29年度桜雲同窓会国際交流事業積立金収支予算書

平成29年6月1日～平成30年5月31日

単位:円

<収入の部>

項 目	前年度予算額B	本年度予算額A	増減A-B	備 考
繰 越 金	1,000,000	2,300,200	1,300,200	定期預金 ¥1,000,200- 普通預金 ¥1,300,000-
繰 入 金	0	0	0	
雑 収 入	0	800	800	預金利息
合 計	1,000,000	2,301,000	1,301,000	

<支出の部>

項 目	前年度予算額B	本年度予算額A	増減A-B	備 考
国際交流事業	0	500,000	500,000	ASMSA派遣事業
合 計	0	500,000	500,000	



懇親会での応援歌



定期総会



佐々木幸三氏(左)と小原之夫氏(右)に感謝状贈呈

《略 歴》

- 昭和 7(1932)年 旧東和町土沢生まれ
- 昭和26(1951)年 花巻北高校卒業
- 昭和30(1955)年 公立盛岡短大美術工芸科卒業、続いて東京教育大・大智教授に師事(盛岡短大は5年後岩手大学に吸収)
- 昭和33(1958)年 広告会社 三正堂入社
- 昭和35(1960)年 友人三人で銀座一丁目にデザイン事務所設立
- 昭和37(1962)年 ㈱アドブレンを赤坂に設立、代表取締役
- 昭和41(1966)年 二科会会員
- 昭和43(1968)年 ㈱アドブレンを銀座に移転
- 昭和44(1969)年 多摩美術大学デザイン科講師、長野農協中央会 コンサルタント
- 昭和49(1974)年 電通指定協力会社認定、中央美術学園デザイン科講師
- 昭和50(1975)年 社団法人日本広告制作協会(OAC)入会
- 昭和55(1980)年 日本広告制作協会(OAC)理事・常務理事 ~平成8(1996)年
- 昭和58(1983)年 岩手日報広告社理事、台湾国華広告社と提携
- 平成19(2007)年 ㈱アドブレン取締役会長
- 平成28(2016)年 ㈱アドブレン内幸町に移転
- 平成29(2017)年 現在 資本金5200万円、スタッフ125名

《受賞歴》

- 昭和30~31年 日宣美展入選
- 昭和35年 国際広告協会(IAA)コンテスト企業イメージ広告 優秀賞(東芝)
- 昭和38年 全国カレンダー展工業技術員賞(住友軽金属)
- 昭和39年 二科展商業部佳作
- 昭和40年 交通安全キャンペーン新聞協会最優秀賞(東京新聞)
- 昭和43年 二科会会員努力賞



講演会

演題「私の仕事」

講師 佐々木 幸 三 氏(15期)

元東京桜雲会会長
株式会社アドブレン会長

我が社では、ポスターや新聞広告、キャラクターデザインなどの企画、制作をしている。広告制作に「プロデュース」という発想を持ち込み、デザイナー・コピーライター・フォトグラファーを束ねる新しいシステムを生み出した。高度経済成長、バブル崩壊、IT化など、アナログからデジタルという時代の流れの中、会社は広告制作の多様化に応じて成長を続けてきた。

私は「広告」は相手の利益を追求するものだと考えている。相手、故郷、仲間を思う心で人とつながってきたことが私の仕事を後押ししてくれた。人との縁が困難を乗り越えるきっかけとなり、クリエイティブな個性を持つ仲間が集まったことでどんな仕事もやり遂げることができたのである。



同級生から花束が贈られました

表彰

平成28年秋の叙勲
旭日小綬章受章

宮澤啓祐氏(26期)



平成28年秋の叙勲にて、桜雲同窓顧問(前同窓会長)で花巻商工会議所会頭の宮澤啓祐氏が、栄えある旭日小綬章(産業振興功労)を受章されました。

平成二十九年三月八日、受章祝賀会が盛大に開催されました。ますますのご活躍とご健勝を祈念いたします。

宮澤啓祐氏 略歴

昭和四十一年三月に慶應義塾大学経済学部卒業。昭和五十五年一月に御宮澤商店取締役社長に就任。花巻商工会議所において、昭和五十八年九月に常議員、平成五年十月から会頭に就任し現在九期目。産業、経済、教育の多岐にわたる分野で要職を務める。

平成元年秋に紺綬褒章(教育振興功績)、二十三年春に藍綬褒章(産業振興功労)を受章。二十八年秋の旭日小綬章は産業振興功労での受章となった。

同期会だより

三十一期古希を祝う会開催

実行委員会 事務局長
佐々木 信也

桜雲同窓会三十一期(昭和四十二年卒)は、卒業二十五周年記念、三十周年記念、還暦祝いなど、同期生を対象としたイベントを実施してきましたが、平成二十九年十月一日には「無事に古希(人生七十古来稀ナリ・杜甫)を迎えることができたことに感謝し、これまでとこれからを語り合い、旧交を暖めるべく(案内文より)、「花巻温泉ホテル紅葉館」に集い、古希を祝う会を開催しました。(プレ企画として母校見学会実施。卒業アルバム顔写真入り名札着用。出欠ハガキ記載の近況報告入り記念冊子配付。)



を開催しました。開会冒頭、鬼籍に入られた恩師、同期生三十六名の方々にを偲んで黙祷。出席者五十七人のフルスピーチ(テーマ)◎在学中の思い出と近況報告は、制限時間に拘らない進行が功奏し、会場が和み、青春時代にプレバック、歓談、そして校歌・応援歌へと続き、肩書きなし、気兼ね要らずの楽しい嬉しひと時はあつという間に過ぎ閉会となるも、名残は尽きずそれぞれの二次会へと翌日は、再会を期して解散。

自身の体調不良、家族の介護、ボランティア活動、仕事の都合などで欠席した方々を思い、お互い健康で穏やかな暮らしであれと祈るばかりです。

古希祝開催案内と併せて同窓会年会費を一括繰り上げ納入すべく要請したところ、目標額の二倍強の協力がありましたので、目標超過分は同窓会への寄付金とさせていただきます。

桜雲第三十九期生還暦同窓会

実行委員会 事務局長
平賀 信一

我々第39期生(昭和五十年卒)の還暦の祝いの同窓会は、本来であれば数えて六十歳となる平成二十八年に行わなければならないところ、一年遅れて平成二十九年の実施となりましたが、参加いただいた三人の恩師、神山良美先生、高橋謙吾先生、吉丸尚志先生、それぞれ米寿、傘寿、喜寿と重なり、

花巻北高等学校第39回卒業生還暦同窓会



期せずしてその御祝いもできる、めでたさが倍増した会となりました。

山の日で休日の八月十一日に、来賓を含む七十八名が参加して花巻温泉紅葉館で開催。物故者に黙祷を捧げた後、発起人代表挨拶、続いてお忙しい中駆けつけてくださった下町校長先生から学校の近況報告などご挨拶を賜り、恩師の三人の先生お一人おひとりからもお言葉をいただきました。

恩師に感謝の花束を贈呈してから乾杯となり、宴が始まりました。我々が三年間学んだ木造校舎解体の様子その他、往時を思い起こさせる内容のDVDが上映され、さらに高橋謙吾先生からの御祝いの吟詠、商品付きツイートのアトラクション、校歌斉唱など続き瞬く間に二次会は閉会となりました。

支部だより

関西桜雲同窓会

支部長 藤井 勝(25期)

いきました。二次会には、高橋、吉丸の両先生も参加。カラオケなどで大いに盛り上がり、締め挨拶で吉丸先生がステージに立った時には既に午前零時を回っていました。その後もまだ幹事部屋を中心に、まるで修学旅行の夜のように各室での歓談は続きました。

還暦同窓会案内と併せて同窓会費納入への協力を求めたところ、目標額を超えることができ、超過分を寄付とし、後日同窓会へ納入しました。

平成二十九年(第五回)関西桜雲同窓会は二十九年六月十七日(土)、前回と同じく神仙閣大阪支店に於いて開催されました。来賓に本部同窓会長、校長、事務局員を迎え、関西地区の同窓会員二十名と関西の大学在籍者二名の参加のもとに行われました。従来隔年実施でしたが、会員からの要請と会員数が百名前後登録できて毎年実施でも出席者を二十名前後は見込めると推定、今回から毎年開催としました。

会は校歌斉唱に始まり、支部長による活動・会計報告、監事の会計監査報告、山折哲雄会長の絶妙な挨拶、本部佐藤会長と下町校長による同窓会と母校の近況のご報告等と続き、本部事務局中村主事の音頭とりで乾杯のあとは、中華料理に舌鼓を打ちながら会員各位の近況報告と自由歓談が延々と続き、メは花高賛歌

事務局長 及川 尚人(38期)
 平成二十九年年度の東京桜雲会は「新しい発見があるかも」というテーマのもと、十月十四日(土)に霞ヶ関ビル35階東海大学校友会館で開催されました。15期の大先輩から58期の後輩まで総勢八十四名。今回も「年代を越えた花巻北高の同窓の強い絆」を

東京桜雲会

で夢のひと時はお開きとなりました。花巻との時間的距離は随分近くなつたとはいえ、関西は同窓生の員数も限られることもあり、会員各位の語りたいたい思いは盛り沢山のように、加えて関西の大学に進学してきた学生諸君との歓談・交流も楽しそうでした。これからも充実した会にしたいものと、願っております。引き続き皆様のご協力をお願い致します。



実感した総会でした。全員での校歌斉唱から始まり、小原会長からのご挨拶。そして本部からご出席頂いた佐藤良介櫻雲同窓会会長からのご挨拶、花巻北高の大竹信之先生からのご挨拶並びに文武両面にわたる北高の近況報告。続いて花巻市教育委員会の布臺一郎部長からのご挨拶をいただきました。そして総会(議事)は恙なく終了。続いて、東京桜雲会の発足当時から今日に至るまでの会の発展に多大なる貢献を頂いた佐々木幸三顧問(15期)に感謝状と記念品の贈呈があり、会場は、参加者全員からの感謝の拍手に包まれました。懇親会は、大竹雅夫先輩(21期)のご発声による乾杯でスタート。そしてしばし歓談。今回は、アトラクションとして小学生(五名)によるタヒチアンダンスのパフォーマンス。会場は、一気に南国の楽園と化しました。続いて恒例のお楽しみ抽選会と続き、関

平成29年度文化講演会

日時/平成29年10月3日(火)
 場所/第一体育館(講演会)・図書室(文芸部との交流会)

柏葉 幸子氏

(児童文学作家・桜雲 36期)

花巻市出身。大学在学中の1974年に『霧のむこうのふしぎな町』で第15回講談社児童文学新人賞に受賞。以後、多くの児童文学賞を受賞し、2016年には『呷のマヨイガ』で第54回野間児童文芸賞を受賞。2017年、第70回岩手日報文化賞(学芸部門)を受賞。



講演会演題 「ファンタジーのたのしみ」

高校時代のエピソードを交えながら、読書の楽しみや進路選択の悩みを、一人の大人として語って下さいました。とくにもファンタジーについては、以下の言葉が印象的でした。「ファンタジーは逃避文学だと言ってしまう人もいますが、私はそうは思いません。逃避できる場所があり、それが癒やされる場所なら、そしてまた現実に戻って頑張るなら、私はそれでいいと思います。」そして、いつも『ああ、楽しかった』と思ってもらえるような本を書きたいと考えているのだそうです。本を読む子どもたちが、楽しいと思える時間を長くして、日常に戻ってくるのではないかと考えて、ファンタジーを書き続けているということでした。

生徒の感想文(講演会)

柏葉先生の「モンスターホテル」という作品を読んだことがあったので、今日の講演を楽しみにしていました。小学校の頃、あまり読書をしていない私が、シリーズを通してほとんど読み切った数少ない作品でした。今はゆっくり読書をする時間も無く、ファンタジーという世界に長く触れていない気がします。しかし、時には小学校時代のようにファンタジーに夢中になったり、単純におもしろかったな、と思ったりするあたたかい感情はとても大事なものだと思います。3年生のこの時期になると、「逃げないで頑張れ」という言葉をよくかけられますが、柏葉さんの「逃げる場所があってもいい」という言葉に勇気をいただきました。いつまでも子どものようにわくわくした感情を持ち続けて、自立した大人になっていきたいなと思いました。(3年鈴木結佳)

～講演会后、文芸部と図書室にて交流会～

柏葉さんから10冊ほど著作をいただき、文芸部からは文芸部誌『花北文学 60号』をプレゼント。幼い頃から読んできた本の作者が目の前にいるということで、緊張と動揺を隠せない部員たち。個々人が自分の好きな柏葉さんの本から、執筆のエピソードなどを聞いていくうちに和やかな雰囲気になりました。

柏葉さんはファンタジーを書くときに「理屈を通すこと」に気をつけているのだそうです。ただの不思議な話ではなく、「こういう理由があるから不思議だ」となるように意識しているのだそう。主人公の名前は「抗生物質」や「漫画」をヒントにしたこともあるそうで、「おもしろいな」と思ったらどどん取材して突き詰めてみる、とのことでした。作者の口から直接、小説や児童文学を執筆する姿勢を教わった部員たちは大満足で、1時間の交流会はあっという間に過ぎてしまいました。

東在住の三名の現役大学生の紹介。続いてご出席の応援団幹部経験者諸氏の先導で応援歌斉唱。締めくくり

は梅原顧問の万歳三唱でお開きとなりました。今後も花巻北高を卒業した仲間

との交流を更に発展・進化させ、母校の発展のお役に立てるよう努める所存です。



なごやかな交流会の様子

執筆のヒント



オススメの柏葉さんの本を持って



柏葉さんより寄贈図書

内外で活躍する

O・B・O・G 紹介



好きなことを仕事に

日刊工業新聞社記者

杉本 要 (70期)

皆さん、好きなことってありませんか？

皆さん、好きなことってありませんか？

私は花巻北高校を二〇〇六年三月に卒業した同窓生です。現在は日刊工業新聞という産業界・経済専門紙に在籍し、名古屋で自動車業界の担当記者をしています。唐突に「好きなこと」をお聞きしたのは、過去の体験から、自身の興味・関心を人に説明できることはとても大切だと思っ

花北に入社した後も新聞記者に対する志は強まり、文系コースを選択。ここで将来を語り合った友人たちの多くが、メディア業界に就職しています。花北時代の仲間は、一生の仲間になると思っています。と、格好良く言いたいところですが、この話には続きがあります。私は花北から東京の大学に進学し、やっぱり新聞記者を志望しました。就職活動はからっきしダメでした。面接を受ける会社はすべて落ち続けました。

私は幼い時から、毎朝届く新聞を読むのがなぜか好きでした(同世代でも珍しいですが)。地域の話題から国際面までページをめくり、小さな記事も隅々まで読みました。この紙面を作っているのはどんな人たちなのだろう？だんだんと、新聞記

後から考えると理由は簡単でした。「あなたはなぜ、新聞記者になりたいの？」という問いに、実は明確な答えがなかったからです。幼い時から新聞が好き、何となく憧れがある。こんな受け答えでは面接を通るはずがありません。人の言葉や行動は理由が伴うことで初めて説得力を持ちます。皆さんの周りにもいま

破れかぶれで「とにかく新聞、いや情報を伝える職業には価値があると思うんです！」と叫んだ頼りない二十二歳を採用してくれた今の会社には感謝しています。

新聞に限らず記者という仕事はニュースの発掘、取材、執筆の繰り返しです。時には早朝、時には深夜まで、取材対象に合わせて動くことが必要で、ハードに思われがちですが(実際にハードですが)、安心して下さい、休めます(笑)。私も休みを取って旅行によく行きます。よく働き、よく休む。メリハリがある職場です。

入社後、まずは航空機業界などの担当を5年ほど続けました。この間、新聞への執筆に加え、名古屋で開発中の国産旅客機「MRJ」を追った『翔べ、MRJ』という書籍も執筆する機会にも恵まれました。日々、色んな人と出会い、話をし、面白いと思ったことを記事にする。やっぱり、記者という仕事って楽しいです。

最後に、人生は「WANT」(やりたい!)と「HOW」(どうやって?)を見つけ、この二つの結びつきをどんどん太くしていく作業だと思えます。日々ぼーっと過ごすことも可能ではありません。でも、何かやりたいことを見つけ、どのように実現するかを考えていると、日常に飽きることはありません!



2015年、半世紀ぶりの国産旅客機が日本の空を舞う。

破れかぶれで「とにかく新聞、いや情報を伝える職業には価値があると思うんです！」と叫んだ頼りない二十二歳を採用してくれた今の会社には感謝しています。

同窓生の活躍

●平成29年叙勲・褒章

- 熊谷 修悦【17期】
旭日双光章 地方自治功労(元 岩手県東和町議会議員)
- 佐藤 利久【30期】
旭日双光章 金融業功労(現 盛岡信用金庫理事長)
- 鎌田 博章【12期】
瑞宝双光章 教育功労(元 公立中学校長)
- 鎌倉 玄悦【23期】
瑞宝双光章 矯正教育功労(現 盛岡少年刑務所教諭)
- 藤澤 信悦【27期】
瑞宝双光章 教育功労(元 公立中学校長)

●平成29年度花巻市市勢功労者表彰

- 新田 盛夫【19期】
(元東和町議会議員・元花巻市議会議員)
- 奥山 隆【26期】
(花巻市選挙管理委員会委員長)

●出版関係等著作物

- 小野寺 琴【15期】
『火 みちのく一関忠臣蔵』(2017年9月/星雲社)
- 古川 勉他【38期】
『聞く力、つなぐ力』(2017年3月/農文協プロダクション)
- 北山 公路【43期】
『マルカン大食堂の奇跡 ～岩手・花巻発!昭和なデパート大食堂 復活までの市民とファンの1年間～』(2017年5月/双葉社)
- 鎌田 麻莉(万里)【44期】
『～世界で愛される癒やしのエサレンメソッド～ 心で触れるボディワーク』(2017年11月/BABジャパン)
- 日食なつこ【74期】
・4th mini CD album『逆鱗マニア』(2017年1月) (※「あのデパート」収録)
・5th mini CD album『鸚鵡』(2017年9月)

ちなみに、花巻と名古屋はFDAでつながっています。飛行機に乗ってしまえば1時間強で着きます(東京よりも近い!)。名古屋城に、名古屋メシに、ちよつと足を伸ばせば岐阜の高山や白川郷も。ぜひ遊びに来てください!

このような同窓生からの激励を受けながら、生徒達は様々な活動に逞しく取り組んでおります。アーチエリー男子団体、剣道男子個人でのインターハイ出場、バレーボール部荒木田君の全国高校選抜チームへの選出、放送部、文芸部の多部門にわたる全国大会出場及び入賞など、目覚ましい成果がみられます。十二月に行われた、夏以降の大

また十月の文化講演会では、児童文学作家で、36期の柏葉幸子先生からご講演をいただき、ファンタジーの心は、現実に向かつていく力にもなるという勇気をいただきました。

八月の同窓会総会では、15期の佐々木幸三様からご講演をいただきました。人口減少や高齢化、AIの進展によって、経済の仕組みや働き方が大きく変わるといわれる今日ですが、その相当以前から、未来を先取りする理念を持って会社を経営されていたことに大いに感銘を受けました。

会を対象とした伝達表彰式では、過去最高の四十七本もの表彰が行われました。先輩からバトンを託された一・二年生も着実に力をつけているとあります。



縦糸と横糸が織りなす 骨太の学びと新たな価値

校長 下町 壽男

自らに向き合い努力を惜しまないこと、そして、他者との対話や、地域コミュニティの一員として連帯していく中で学びを深め、新たな価値を生み出していくこと。これこそが、桜雲同窓生という縦糸と横糸によって編み直され、脈々と進化し続ける「黒橋魂」「桜雲臺精神」ではないかと思えます。

また、今年度は生徒の主体的な活動が多く見られる年でもありました。万葉植物園復興に立ち上がる有志、県外や海外に目を向け自らを磨こうとする生徒。また、美術部のシャッターアートプロジェクト、合唱部の賢治祭や花巻文化村などでの公演活動、放送部と花巻FM局との連携、「ふるさとCM大賞」への協力等々、地域参画の取組も数多く見られたことも付け加えておきます。

また、今年度は生徒の主体的な活動が多く見られる年でもありました。万葉植物園復興に立ち上がる有志、県外や海外に目を向け自らを磨こうとする生徒。また、美術部のシャッターアートプロジェクト、合唱部の賢治祭や花巻文化村などでの公演活動、放送部と花巻FM局との連携、「ふるさとCM大賞」への協力等々、地域参画の取組も数多く見られたことも付け加えておきます。

また、今年度は生徒の主体的な活動が多く見られる年でもありました。万葉植物園復興に立ち上がる有志、県外や海外に目を向け自らを磨こうとする生徒。また、美術部のシャッターアートプロジェクト、合唱部の賢治祭や花巻文化村などでの公演活動、放送部と花巻FM局との連携、「ふるさとCM大賞」への協力等々、地域参画の取組も数多く見られたことも付け加えておきます。

ASMSA 短期派遣 参加報告

校長 下町 壽男

本校は、昨年9月にASMSA(アーカンソー数理芸術高校)と姉妹校提携を結び、いよいよ今年度から相互の短期派遣事業が始まりました。

今回は初回ということで、花巻市の国際交流室及び国際交流協会から協力をいただき、市が行うホットスプリングス市への派遣事業に相乗りする形で企画しました。

本校の派遣メンバーは私と齊藤奨教諭及び4名の生徒で、11月3日から10日間にわたり充実した研修を行うことができました。

出発にあたっては、朝早い中、佐藤良介同窓会長と酒

井孝子副会長が見送りに来てくださいました。酒井副会長からは焼きたてパンの差し入れもあり、生徒たちはとても元気づけられました。

訪問団一行は、ホットミドル、マウンテンパイン、レイクハミルトン、レイクサイド、ASMSAの5校を訪問しましたが、本校は、特にASMSAとの連携を軸に独自の日程で、授業体験や交流を行いました。私も授業参観や現地教師とのディスカッションを通じて、日本との授業方法の違いや、その根底にある教育哲学について大きな学びを得ることができました。詳しくは以下のページをご覧ください。



ホットスプリングス市長を表敬訪問

(<http://www5b.biglobe.ne.jp/~simomac/jissen/hotclass.pdf>)

旅行前、同窓生の城守節子(25期)さんから、お土産用にと、200枚もの手作りの菓をいただきました。ASMSAの学生を中心にプレゼントしたところ、お別れ会の際に、彼らから日本語による感謝のお手紙をいただきました。1つの菓によって、このような交流が生まれたことも、今回の派遣事業の心温まるエピソードの一つです。

最後に、この事業が実施できたのは、東京桜雲会をはじめ多くの同窓生からの寄付のおかげです。この場を借りて同窓生の皆様にあらためて感謝申し上げます。



ASMSAと花巻北高校生のお別れ会

一步前進

私は、現地の英語に触れ、教育について学んできました。実際に自分の英語力を試すことができ、すばらしい経験になりました。英語が伝わった時の嬉しさや、うまく通じなかった時のもどかしさを通して、英語や英語学習への意欲がより高まりました。また、ASMSAに通うことで、アメリカと日本の教育制度の違いを学び、双方の良さを知ることができました。特に、将来の夢に合わせて各人が時間割を組むことが印象に残りました。日本より選択教科の幅が広く、生徒達もその制度が気に入っているようでした。今回の派遣を通して、英語の教員になるという夢に一步近づけた気がします。ASMSA派遣事業に第一期生として選んでいただいたことに感謝しています。ありがとうございました。

2年B組 荒谷 真穂



Good experience

私は現地で「海外に広まる日本文化」について調査しました。日本食はアメリカでも人気があり、ホストファミリーに日本食レストランに連れてってもらいました。私はそこでアメリカ発祥の寿司「カリフォルニアロール」を食べました。初めて食べましたがとてもおいしく、日本文化が広がるだけでなくアレンジされていることにも驚きました。ほかにもマンガやアニメといったサブカルチャーも注目されており、学校やお店でもよく見かけ日本文化の広がりを感じました。私は今回の研修で非常に多くのことを学ぶことができとてもいい経験をしたと感じました。その背景には桜雲同窓会や花巻市の協力があり非常に感謝しています。この経験を進路や将来につなげられるよう引き続き頑張っていきます。

2年C組 大内 尚人



コリー校長宅での次年度の打合せ

第50回岩手県高等学校1・2年体別柔道選手権大会

- 2年男子60kg級
1回戦 菊池翔陽○×佐々木(関)
2回戦 菊池翔陽○×米沢(盛岡南)
第62回岩手県高等学校新入柔道大会
男子60kg級
1回戦 菊池翔陽○×佐々木(大槌)
2回戦 菊池翔陽○×大平(盛岡)

第49回岩手県高等学校選抜剣道大会

- 【男子団体】
1回戦 ○花巻北5人残り1 遠野×(高山高慶5人抜き)
2回戦 ○花巻北(4人残り1) 盛岡北×
3回戦 ○花巻北(1人残り1) 白百合×
決勝 ○花巻北(1人残り1) 吉岡×
※優勝(8年ぶり3回目)
表彰 10人抜き、高山高慶
優秀選手賞 桐野巨・菅崎風沙 木村朋佳

第69回岩手県高等学校総合体育大会剣道競技

- 【男子個人】
山口新太 優勝(アンター) 東北大会出場
桐野巨 決勝トーナメント敗退(ベスト8)(東北大会出場)
菅崎風沙 決勝トーナメント敗退(ベスト8)(東北大会出場)
阿部陽葵 大山沙月 5回戦敗退(ベスト16)
木村朋佳 菅崎風沙 3回戦敗退 佐々木裕貴 塚本杏奈・高橋美穂・吉田萌花 2回戦敗退
【女子個人】
予選リーグ
○花巻北5-0 専大北北×
○花巻北5-0 盛岡商業× 予選リーグ1位通過
決勝トーナメント
○花巻北5-0 岩倉堂×
○花巻北4-1 盛岡南×
○花巻北5-0 北上翔南×
○花巻北4-1 盛岡南×
○花巻北1-2 福岡○ 決勝リーグ2位
※準優勝
【女子団体】
予選リーグ
○花巻北5-0 久慈東×
○花巻北4-1 福岡×(予選リーグ1位通過)
決勝トーナメント
○花巻北3-0 盛岡市立×
決勝リーグ
○花巻北1-2 白百合○
○花巻北1-2 盛岡南○
○花巻北1-2 盛岡南○

第50回岩手県高等学校選抜柔道選手権大会

- ×花巻北2-3 盛岡第1 ○(決勝リーグ4位)
第3位
第50回東北高等学校剣道選手権大会
第49回東北高等学校女子剣道選手権大会
【女子団体】予選リーグ
○花巻北1-2 酒田東 ○
○花巻北1-3 小田原農林 ○(予選敗退)
【女子個人】予選リーグ
○花巻北1-1 安積 ○(本数負け)
○花巻北4-0 山形工業×(予選敗退)
【女子個人】
菅崎風沙 1回戦 ○0-0×前田聖ウルスシ(延長勝5)
2回戦 ○1-0×窪田(小田農林)
3回戦 ○1-0×塩田(安積)
準々決勝 ○0-0×田口(大曲)(延長負け) ※ベスト8
【男子個人】
桐野巨 1回戦 ○2-0×傳法小川農林
山口新太 2回戦 ○0-2×馬場聖光学院
第64回全国高等学校剣道大会
第64回全国高等学校剣道大会
【男子個人】
山口新太 1回戦 ○0-1×石田(流経大相)
岩手県高等学校新入大会 剣道競技
【男子個人】
菅崎風沙 1回戦敗退
菅崎風沙 2回戦敗退
【女子個人】
菅崎風沙 5回戦敗退(ベスト4)
吉田萌花 4回戦敗退(ベスト8)
菅崎風沙 2回戦敗退 堀口沙耶 3回戦敗退
【女子個人】
予選リーグ ○1-1×戸
○4-0×水沢業
決勝トーナメント 1回戦 ○3-0×宮古業
2回戦 ○1-3×盛岡四
※第3位(東北大会出場)
【女子団体】
予選リーグ ○3-0×宮古
決勝トーナメント 1回戦 ○1-2×盛岡南
2月10日東北大会(団体)
予選リーグ
第69回岩手県高等学校総合体育大会テニスコスモ

第69回岩手県高等学校総合体育大会テニスコスモ

- 【男子個人】
1R 花巻北 2-1 盛岡三
2R 花巻北 1-2 盛岡南(ベスト8)
【女子個人】
1R 花巻北 2-1 不来方
2R 花巻北 0-3 白百合(ベスト8)
【男子ダブルス】
1R 高橋航○6 相利日(関高専)
岩倉風丸 2-6 佐藤(盛岡北)
熊谷風丸 6-1 駒井(盛岡南)
大内尚人 2-6 太田屋(岩手)
岩清水翔太 1-6 山田(岩手)
桐岡陽 6-4 蟹沢川(盛岡三)
菊池雄大 6-0 高橋(盛岡三)
2R 熊谷颯太 2-6 佐藤(盛岡中央)

第69回岩手県高等学校総合体育大会ソフトボール

- ソフトボール
横岡陽 0-6 佐藤(岩手)
菊池雄大 0-6 新里(岩手)
【男子ダブルス】
1R 横岡 菊池 6-2 岩田(後援水沢)
阿部舜 高橋圭 1-6 佐藤(佐藤盛岡)
岩清水 熊谷 3-6 新井(阿部黒)
2R 横岡 菊池 2-6 組野(佐藤岩手)
【女子個人】予選リーグ
1R 野野未来 2-6 木下(盛岡南)
外館精 6-3 藤澤(白百合)
2R 外館精 1-6 佐藤(白百合)(ベスト16)
【女子ダブルス】
1R 青木萌花 外館精 0-6 佐藤 菊池 白百合
20回団体選手会
外館精 7-8 位相当
県民大会
【男子ダブルス】
菊池雄大 予選決勝敗退(ベスト16)
【女子個人】予選リーグ
岸史乃 2回戦敗退(ベスト8)
外館精 本戦6位
第49回岩手県高等学校新入大会 テニスコスモ大会
【男子団体】
1回戦 花巻北 3-2 黒沢尻工業
2回戦 花巻北 3-3 盛岡中央
順位決定戦 2回戦 花巻北 0-3 盛岡工業
【女子団体】
1回戦 花巻北 1-4 盛岡第三
順位決定戦 2回戦 花巻北 3-0 盛岡第一
3回戦 花巻北 0-3 盛岡第四
【男子ダブルス】
佐藤慎吾 初戦敗退
大内尚人 2回戦敗退(ベスト32)
菊池雄大 3回戦敗退(ベスト16)
【女子ダブルス】
佐藤慎吾 和田啓有 2回戦敗退(ベスト16)
菊池雄大 大内尚人 2回戦敗退(ベスト16)
【女子シングル】
岸史乃 2回戦敗退(ベスト16)
外館精 準々決勝敗退(ベスト8)
順位決定戦 第7位
【女子ダブルス】
岸史乃 外館精 準々決勝敗退(ベスト8)
平成29年度東北春季
ジュニアアスロ岩手県大会(U18)
【女子個人】
外館精 第7位
岸史乃 ベスト12
平成29年度岩手県ジュニアダブルス選手権大会
【男子ダブルス】
菊池雄大 佐藤慎吾(ベスト8)
外館精 岸史乃 第3位(東北大会出場)
玉澤愛希(花巻J所属中學生とのペア)ベスト16

ル競技

- ル競技
花巻北 13-6 釜石(5回コールド)
花巻北 1-13 千歳(5回コールド)
第64回岩手県高等学校新入大会ソフトボール競技
花巻北 盛岡商業 9-13 盛岡農薬
【男子個人】予選リーグ
第30回岩手県高等学校春季アーチエリート大会
【男子団体】 花巻北 1位
【男子個人】 3位 阿部魁徒 4位 村上涼
5位 加藤太一
【女子個人】 花巻北 3位
【女子団体】 5位 加藤美奈
第31回B.C杯争奪アーチエリート競技大会
【男子個人】 2位 加藤太一 4位 阿部魁徒
【女子個人】 6位 多田香奈子
第69回岩手県高等学校総合体育大会アーチエリート競技
【男子個人】 花巻北 A 優勝
【男子個人】 2位 阿部魁徒 3位 加藤太一
5位 村上涼
【女子個人】 花巻北 C 3位
【女子個人】 4位 多田香奈子 5位 梅本李緒
第35回東北高等学校アーチエリート選手権大会
【男子団体】 ベスト8
【女子団体】 準優勝
花巻北 6-1 2 秋田南(秋田)
花巻北 5-4 4 田村(福島)
花巻北 5-4 5 青森(青森)
花巻北 4-5 青森(青森)
全国宮内閣杯 第50回全国高等学校アーチエリート選手権大会
【男子個人】 予選敗退
【女子個人】 予選敗退
【男子個人】 予選敗退
【女子個人】 予選敗退
第41回東北総合体育大会兼第72回国民体育大会 東北ブロック大会
【少年男子個人】 予選敗退
【少年男子個人】 予選敗退
岩手県高等学校新入大会アーチエリート競技大会 70Mラウンド
【男子個人】 花巻北 A 優勝
【男子個人】 1位 阿部魁徒 4位 照井生
5位 館下龍人 6位 玉山弘史郎
【女子個人】 花巻北 A 2位 花巻北 B 3位
【女子個人】 6位 梅本李緒
30Mラウンド
【男子個人】 2位 村上幸汰 3位 澄川立皓
【女子個人】 5位 佐々木美鈴 6位 高澤薫子
第32回東北高等学校アーチエリート選手権大会
【男子個人】 5位 梅本李緒
【女子個人】 5位 梅本李緒
【女子個人】 花巻北 2-6 福島(福島)
【女子個人】 決勝ラウンドトーナメント第3位
花巻北 5-4 盛岡(白百合)岩手
【男子個人】 阿部魁徒 出場

吹奏楽

- 吹奏楽
全日本吹奏楽コンクール第55回岩手県大会
金賞

合唱

- 合唱
第69回全日本合唱コンクール岩手県大会
金賞
第34回NHK全国学校音楽コンクール岩手県大会
金賞(東北大会出場)
第64回NHK全国学校音楽コンクール東北ブロックコンクール
奨励賞
第37回岩手県合唱コンクールコンテスト
金賞
第40回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展
美術
第55回岩手県美術展
【絵画部門】
入選 及川美鈴
入選 菊池雄大
入選 大原直芽
【デザイン部門】
入選 田中日和
入選 山田幸恵
入選 島津英恵
写真
岩手県高等学校写真部夏季写真コンテスト
特賞 福山ゆずか
佳作 大内美羽
佳作 田中美羽
優良賞 佐々木和央
入選 田中実羽
岩手県高等学校写真部秋季写真コンテスト
特賞 田中美羽
入選 伊藤穂乃花

英語

- 英語
全日本サンパルコンテスト第38回岩手県大会
金賞(三重奏)金賞
クワネット(三重奏)金賞
サクソフロン(四重奏)金賞
【英語】
岩手県高等学校英語スピーチコンテスト
照井晴輝 藤原衣衣 参加賞
文芸
岩手県学生文芸コンクール
児童文学部門 最優秀賞 筑後志帆子
詩部門 優良賞 村松雅俊
短歌部門 入選 筑後志帆子・館野咲香
俳句部門 優良賞 筑後志帆子
随筆部門 優良賞 菊池夕莉夏
入選 筑後志帆子
小説部門 優良賞 村松雅俊
文芸部誌部門 優秀賞 花北文芸部 花北文学60号(東北大会出場)
第32回全国高等学校文芸コンクール
小説部門 優良賞 村松雅俊
入選 渡辺凛
随筆部門 入選 菊池夕莉夏
短歌部門 入選 村松雅俊
俳句部門 入選 渡辺凛
【団体戦】
A級 予選リーグ敗退
B級 5戦中2勝3敗 トーナメント戦入賞ならず
岩手県文連将棋選手権
A級 長門大亮(2勝(ベスト16))
細福登真(1勝(ベスト32))
他3名は1回戦敗退
岩手県高等学校将棋新人大会
【個人戦】
本校最高位は
A級 大川祐輔 3回戦敗退(ベスト16)
B級 松尾 69名中49位
【団体戦】
A級 予選リーグ敗退
B級 5戦中2勝3敗 36チーム中26位

放送

- 放送
第40回岩手県放送文化祭放送部門大会兼
第64回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会
朗読部門 優良賞 高橋美穂(全国大会出場)
入選 高橋裕佳
ラジオドキュメント部門 最優秀賞(全国大会出場)
校内放送研究発表発表表(全国大会出場)
第64回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会
朗読部門 準々決勝敗退 高橋美穂
ラジオドキュメント部門 準々決勝敗退
校内放送研究発表表 参加賞
第41回全国高等学校総合文化祭宮城大会
朗読部門 手紙連盟賞(参加賞) 高橋美穂
第40回岩手県文化連盟総合文化祭放送部門大会
兼第35回岩手県高等学校放送コンテスト大会
ラジオ部門 入賞 杉原真菜(東北大会出場)
朗読部門 優秀賞 本橋(輝) 20回全国高等学校総合文化祭優秀賞(東北大会出場)
ラジオドキュメント部門 優良賞
20年度岩手県交通安全テレビCMコンテスト
準グランプリ 高齢者部門
応募団
各大会へ応援参加
東京六大学野球応援研修宿

特別賞

- 特別賞
佐藤明恵
イーロン・フエルの写真コンテスト学生部門
特別賞 伊藤穂乃花
【軽音楽】
第41回全国高等学校総合文化祭軽音楽部門
からすのジョニー
第40回岩手県高等学校総合文化祭軽音楽部門
優良賞
【タイプライター】からすのジョニー
(阿部小直 佐藤里佳 菅原美奈 照井李佳)

囲碁将棋

- 囲碁将棋
岩手県高等学校将棋大会
【団体戦】
A級 予選リーグ敗退
B級 5戦中4勝1敗 トーナメント戦入賞ならず
岩手県文連将棋選手権
A級 長門大亮(2勝(ベスト16))
細福登真(1勝(ベスト32))
他3名は1回戦敗退
岩手県高等学校将棋新人大会
【個人戦】
本校最高位は
A級 大川祐輔 3回戦敗退(ベスト16)
B級 松尾 69名中49位
【団体戦】
A級 予選リーグ敗退
B級 5戦中2勝3敗 36チーム中26位

アーチエリー部

悔しさを胸に猪突猛進

二年 照井 一 生

第六十九回岩手県高等学校総合体育大会にて、男子団体が盛岡工業の三十連覇を阻み、インターハイに出場することが出来た。インターハイの会場は東北大会と同じでしたが、東北大会の時とは違う独特な雰囲気を感じてしまいました。その結果、メンバー全員が予選敗退となりました。

しかし、インターハイという大舞台に立てたことは、後輩にも引き継げる大きな財産となりました。来年度、再来年度と続けて男女ともにインターハイに出場できるように、日々の努力を大切に、より一層邁進していきます。



最後になりましたが、応援して下さった皆様、この場を借りて深く感謝を申し上げます。多大なるご声援ありがとうございました。

剣道部

インターハイを終えて思うこと

三年 山口 新 太

このインターハイが終わり、私が率直に思ったことは、「悔しい、まだやれた」だった。

六月に行われた県高総体では、団体でのインターハイ出場を掴むことが出来ず、その後の東北大会を終えた時点で私以外の三年生は引退となった。共に戦ってきた仲間のためにも思い取り組んだが、物足りなさのようなものがあり、なかなか自分を奮い立たせることが出来な



かった。改めて、苦しさや喜びを共に分かち合ってきた仲間の偉大さに気づかされた。

インターハイでは、自分自身の鬼門である一回戦で力を出し切れずに負けてしまった。結果より、力を出し切ることが出来なかった自分を後悔した。このインターハイで得た「悔しい、まだやれた」という気持ちを胸にこれからも挑戦していきたい。

バレーボール部

えひめ国体に出場して

三年 荒木田 光 一

岩手県選抜チームは一関修紅と不来方が主体であり、花巻北からは私一人だけ選ばれた。最初はチームに馴染めず、セッターとの連携も取れずに納得のいくプレーはできなかった。何とかしようと居残り練習をした。また、コミュニケーションを取りチームに馴染めるよう努力した。その結果、国体予選である東北総体では、二位となり国体出場権を得ることができた。

えひめ国体当日、去年の希望郷いわて国体思い出として、補助員として、少年男子決勝の線審をしながら「来年は、選手として全国の人たちと戦ってみたい。」と思うて



軽音楽部

全国高総文祭報告

三年 齋藤 未衣花

第四十一回全国高等学校総合文化祭軽音楽部門では、本県から出場の花巻北高校を含む計二十校が発表を行った。出演バンドは、自分たちの力で一から作り上げた曲を熱量溢れるパフォーマンスで披露した。独自性に富んだ各校の演奏から新たな表現の仕方など多くのことを学ぶことができ、様々な地域で活躍する高校生バンドの活動を知ることによって刺激を受けた。今回



のような、全国的な軽音楽に真剣に向き合う高校生と交流できる場が増え、門戸が広がっていくことを期待する。

放送部

最後の大会を終えて

三年 高橋 美 綺

私は、全国高等学校総合文化祭宮城大会の朗読部門に出場し、『かぜのんわ』（いもとようこ作）を発表しました。この作品は大槌町に実在する「風の電話」を題材に描かれた絵本です。作品を深く解釈するため、盛岡一高、不来方高校の生徒二名と共に大槌町に取材に行きました。

岩手県は、アナウンス部門、朗読部門、番組部門がチームで一つのテーマを決め、「県の発表」となることを目標としていました。県内の生徒間で交流を深めていたことにより、初めての場所という不安や緊張もなく発表に臨むことが出来ました。ステージ上では、照明の関係で客席が見えない状態でしたが、かえって作品の世界に意識を集中させることが出来ました。感情表現、間の取り方、読む速さなど、

あらゆる点で自分の最大限の力を発揮できた発表だったと思います。三年間支えて下さった皆様、ありがとうございます。



高総文祭2017 放送部門

文芸部

受賞によせて

三年 村松 雅 俊

第三十二回全国高等学校文芸コンクール小説部門で優良賞をいただき、喜びが胸一杯です。受賞した小説の題名は「めぐる」で、私の地元矢巾町をモチーフにした小説です。矢巾町は都会でも田舎でもない中途半端な町です。ずっとそんな町が嫌でした。ただ、私は地元を中途半端だと思っ自分自身の方がもった嫌でした。そのため、高校最後の小説は、自分と自分の地元についてしっかりと向き合った小説を書くことと決意しました。



実際に地元の特産品であるしいたけを栽培する農家に取材に行きました。そこで、しいたけも人も「自然めぐり」の中にあることを実感し、この町に生まれよかったです。最後にありますが、ともに創作感動に励んだ文芸部の仲間、指導してくださった先生、そのほかお世話になった全ての方々に感謝申し上げます。

応援団

高総体開会式の存続を

第八十七代応援団長

二年 小原 亮 太

今年度、花高応援団八十七代目の団長に就任しました。先輩方から受け継ぎながら新しいものも取り入れ、新人戦・高総体等の各種大会の応援に取り組みしております。また、応援歌練習に向け、自らの技術・意識を高めながら日々の活動を行っています。

最近の花高応援団は、幹部の人数増加と高総体開会式の存続を目標に活動しております。特に高総体開会式の存続については他校と協力しながら大きな動きになるよう日々努力しています。しかしながら、高校生だけの活動では限界があり、存続決定までの道のりは長く厳しいものだと実感しています。先輩方の協力をお借りしつつ、応援団の活動を引き続き盛り上げていけるよう努力していきたいと思っております。

以上



平成29年度入試(平成29年3月卒業生)の進路状況

昨年度も230名の若者が桜雲台の学窓を勇躍、巣立っていきました。職員、生徒共々一層の高みを目指して日々努力を重ねてきましたが、この学年も文武両面でいくつかの快挙として誇れることがありました。その中の一つとして、京都大学合格を特筆するのには躊躇しません。それはこの合格が「新しい学力観」を如実に象徴しているからなのです。この入試は、筆記試験に加えて、在学中にどのような活動をしたか、という活動履歴やプレゼンテーションを重要視するもので、当該生徒の郷土愛、着眼、独創性、さらには実践力を評価されての合格と言えます。つまり、大学も数字・数値にのみとらわれず、大学のアイデンティティーを前面に出して、それに相応しい学生を選抜しようとする姿勢を先駆けて示したのです。しかもどうやらこれは京都大学だけではなさそうです。本校運動部の雄、男子ハンドボール部全員が国立大学に合格したという快挙もまた、それぞれの大学が在学中の実績を高く評価してくれたと言ってもあながち間違いではないと思うのです。「文武両道」の精神が遺憾なく発揮され、このような一途な活動が結果して認められたことは、後輩諸君に対する何にも勝る指標、応援になるのではないかと確信します。

ご存じのとおり、2020年、大学入試制度が大きく改革され、もはや「学力」というものが、机に向かってペンを走らせ、数値によって類別されるという時代は終焉を迎えようとしています。これは、高校・大学の入試改革のみならず、世の中をも変えることにつながることであり、過言ではなく、我々職員もその自負をもって指導に邁進したいと思うところです。

今後とも同窓の皆様にはご健勝をお祈り申し上げますとともに、本校発展のためよろしくご指導をお願い申し上げます。

(進路指導主事 田上洋一)



***** 平成29年度入試(平成29年3月卒業生)合格状況 *****

現役合格者〔過卒合格者数〕

(1) 国立大学

学校名	29年度	
	現役	過卒
北見工大	3	
北教大函館校	5	
室蘭工大	3	
弘前大	5	
岩手大	34	
東北大	11	
宮城教育大	3	
秋田大	7	
山形大	4	
福島大	6	
茨城大	3	
宇都宮大	2	
群馬大	1	
埼玉大	1	
横浜国立大	1	
新潟大	1	
富山大	1	
金沢大	1	
信州大	1	
京都大	1	
鹿児島大	1	
琉球大	1	
小計	93	0

宮城大	2	
秋田県立大	3	
秋田公立美術	2	
山形保健医療大	1	
前橋工科大	1	
高崎経大	5	
横浜市立大	1	
都留文科大	7	
静岡県立芸大	1	
長岡造形大	1	
小計	59	0
関公立大現役総数	152	
関公立大現役実数	144	

(3) 私立大学

学校名	29年度	
	現役	過卒
札幌医療保健大	1	
札幌学院大	2	
札幌大	1	
北海学園大	1	
北海道医療大	1	
北海道科学大	1	
北星学園大	1	
青森大	1	
八戸工大	3	
青森中央学院大	1	
岩手医大	10	1
岩手保健医療大	7	
富士大	1	
盛岡大	28	
仙台大	1	
東北学院大	25	
東北工大	10	

東北福祉大	10	
宮城学院女子大	2	
東北化学園大	1	
尚絅学院大	1	
東北医薬大	1	
東北芸術工大	1	
国際医療福祉大	2	
城西大	2	
東京国際大	1	
文教大	2	
文京学院大	1	
千葉工大	2	
千葉商大	1	
帝京平成大	1	
青山学院大	1	
亜細亜大	2	
桜美林大	2	
大妻女子大	2	
北里大	1	
杏林大	1	
慶応大	1	
工学院大	3	
国士館大	2	
駒澤大	1	
駒沢女子大	1	
実践女子大	2	
芝浦工大	2	
順天堂大	1	
専修大	1	
玉川大	2	
多摩美大	1	
津田塾大	1	
帝京大	2	
東海大	1	

東京女子大	1	
東京農大	1	
東京理大	2	
東邦大	1	
東洋大	3	
日本大	5	
日本体育大	1	
法政大	2	
武蔵野大	2	
武蔵野美大	3	
明治大	1	
明治学院大	2	
明治薬大	1	
早稲田大	1	1
東京医療保健大	1	
神奈川大	3	
関東学院大	2	
鎌倉女子大	1	
新潟医療福祉大	1	
金沢工大	2	
尚美学園大	1	
関西大	1	
近畿大	1	
小計	192	2

(4) 国公立短期大学

学校名	29年度	
	現役	過卒
岩手県大盛岡短	2	
山形県米沢女短	1	
大月短	1	
小計	4	0

(5) 私立短期大学

学校名	29年度	
	現役	過卒
拓殖大北海道短	1	
盛岡大短大部	1	
仙台青葉学院短	1	
共立女短	1	
埼玉医大短	1	
小計	5	0

(6) 文部科学省所管外

学校名	29年度	
	現役	過卒
岩手農業大	1	
職業能開大	1	
岩手産業技術短	2	
小計	4	0

(7) その他

学校名	29年度	
	現役	過卒
専門・各種学校	14	
小計	14	0

(8) 医学部医学科合格者数

医学部医学科	29年度	
	現役	過卒
		1

※過卒合格者については学校に連絡があった者のみ

(2) 公立大学

学校名	29年度	
	現役	過卒
釧路公立大	11	
名寄市立大	1	
青森県立保健大	1	
青森公立大	6	
岩手県立大	16	

同窓会費納入状況

(平成29年12月31日現在)

期(卒業年)	残 額(円)	期(卒業年)	残 額(円)
31(昭和42年)	完	46(昭和57年)	360,000
32(昭和43年)	180,000	47(昭和58年)	完
33(昭和44年)	完	48(昭和59年)	完
34(昭和45年)	完	49(昭和60年)	360,000
35(昭和46年)	40,000	50(昭和61年)	360,000
36(昭和47年)	完	51(昭和62年)	135,000
37(昭和48年)	完	52(昭和63年)	510,000
38(昭和49年)	完	53(平成元年)	490,000
39(昭和50年)	完	54(平成2年)	510,000
40(昭和51年)	完	55(平成3年)	510,000
41(昭和52年)	380,000	56(平成4年)	290,000
42(昭和53年)	410,000	57(平成5年)	510,000
43(昭和54年)	25,000	58(平成6年)	190,000
44(昭和55年)	完	59(平成7年)	510,000
45(昭和56年)	340,000	60(平成8年)	510,000

※「卒業年」は、その年の3月卒を表します。(残額合計 6,680,000円)

同窓会費納入のお願い

桜雲同窓会は、同窓生の皆様に納めて頂いている会費と、在校生の入会金によって運営されております。

少子化による生徒数減少が続くと、同窓会事業の運営にも支障が生じる恐れが考えられます。

今後の同窓会運営のために、各期理事を中心に、会費納入の仕組み、現状を周知して頂き、会費の納入に特段のご協力をお願いいたします。

今年度は31期、35期、39期、43期、58期の皆様より会費の納入がありましたことを報告いたします。

桜雲同窓会事務局

会費納入の仕組み

- ・桜雲60期まで
- ・卒業時に一人当たり、三千円を入会金として納入。(すべての期が完納)
- ・卒業後六年経過した時点より、各期年会費一万円を五十一年間納入。
- ・桜雲61期以降
- ・在学中に完納。(学年諸会費と一緒に納入)

事務局だより

今年度新しく小田島智子教諭(59期)を迎え、一年間活動して参りました。八月五日の桜雲同窓会定期総会には約百二十名の同窓生に出席を頂戴し、また15期の佐々木幸三氏(元東京桜雲会会長・株式会社アドブレーション会長)の講演では『私の仕事』と題してお話を頂きました。支部総会も関西、北西、石巻、谷盛岡、東京、東和、北支部とそれぞれの地区で行われ、活況の様子でございました。

今年度はA.S.M.S.A海外派遣事業の新しい一歩を踏み出した花巻北高校。今後も海外派遣事業の継続や様々な事業が計画されていますが、同窓会としても協力して行きたいと考えております。

来年度も引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願い致します。

平成二十九年度
桜雲同窓会事務局(◎は事務局長)
大竹 信之 教諭(52期・理科)

~寄贈のご紹介~

- 山折 哲雄氏(14期)
・「ひとり」の哲学・恩人の思想
- 齊藤 毅憲氏(25期)
・絵本にみる「仕事とはどのようなものか」
- 千葉 剛氏(27期)
・Preparation for the TOEIC Test
・Cool Japan
- 谷村 久雄氏(32期)
・生きる道
- 柏葉 幸子さん(36期)
・霧の向こうの不思議な町・The Marvelous Village Veiled in Mist
・ふしぎなおばあちゃん×12・童が呼んだ娘やみ倉の童
・涙倉の夢・地下室からのふしぎな旅・鬼ヶ島通信 2017 Summer
・魔女モチとわりこ屋のコラル・天井うらのふしぎな友だち
- 北山 公路氏(43期)
・マルカン大食堂の奇跡
・花巻まち散歩マガジン「Machicoco」(Vol.1~5)



- 齊藤 毅憲氏(25期)
・花巻北高新聞
(昭和33年~35年)



- 後藤 勝也氏(26期・第29代応援団長)
・応援団OB高橋圭三氏(1期・元NHKアナウンサー)より代々譲り受けた「マント」

創立80周年記念誌「桜雲八十年」

平成24年3月1日発行【価格】3,000円(送料込み)

最新 2013 桜雲同窓会員名簿

平成25年11月30日発行【価格】6,000円(送料込み)

お申込み

【桜雲同窓会事務局】

花巻北高等学校内 TEL.0198-23-4134

【業務委託先】

(株)菊忠印刷 TEL.0198-42-2511

青木 貞志	齋藤 宗志	中村 忍	小田島 智子	及川 実保	佐野 智貴	川村 惟歩
教諭(53期)	教諭(54期)	教諭(56期)	教諭(59期)	教諭(61期)	教諭(65期)	教諭(76期)
体育	体育	事務	英語	数学	国語	数学

編集後記

今号から内容を刷新いたしました。目的は「同窓会報なので、母校の情報より同窓会活動情報を中心に」様々なOB・OGの活躍を紹介し、「現役生達の姿を写真で紹介」です。同窓会活動やOB・OGの活躍は、現役生達の将来の指針にもなると思いますし、同窓生の相互理解にもつながると考えています。

これまでは単なる記事扱いだった同期会開催報告も、決まった枠を用意してご紹介したいと考えました。私事ながら、私たちの期も再来年は還暦を迎えます。その時に向けて、今号に掲載されている先輩の還暦祝い記事は、とても参考になります。各期とも諸先輩方の同期会報告を見ながら自分の期の同期会を活性化してもらうことにより、同窓会費の入金促進にも間接的に繋がると考えました。

こうやって同窓生各位のご活躍をまとめてみると、桜雲同窓生の皆さんの素晴らしいさを再認識できました。そういうことを知りつつ先輩、後輩のつながり、結びつきが強くなると、さらに大きなパワーとなつて母校、あるいは郷土(岩手、花巻)への貢献につながるのではないかと期待が膨らみます。

引き続き本誌充実に向けていきますので、今後ともよろしくお申し込み申し上げます。

「桜雲」編集長 北山公路(43期)

桜雲同窓会 定期総会

平成30年8月4日(土)
午後2時
ホテルグランシェール花巻
会費 4,000円